

～衛生管理の強化等によるミリン干し商品の販売量拡大～ 小林商店（茨城県神栖市）

背景・課題

従来カタクチイワシを主体にみりん干し加工を行ってきたが、手作業主体の生産工程のため作業員の不足等が生じたため、サバ等の機械作業が可能な魚種のみりん干し製造に切り替え、サバのみりん干し等の商品が販売先から高評価を得たものの、現状の生産体制では生産量が限られている。

加えて、食品衛生法の改正や販売先からの要望等により、HACCP的手法の採用が要求されることもあり、衛生管理の強化が求められる。

取組のポイント

- ・セイロ洗浄機や乾燥機を導入し、製造工程の一部を機械化することで製造量増加を図った。
- ・製造工程の見直しを行い、より高度な衛生環境での製品製造体制の構築に取り組んだ。
- ・関係先からの協力を得て川下ニーズの商品開発に取り組むとともに、スーパー等の量販店のみならず新たな販路開拓にも取り組んだ。

取組の成果

- ・機器導入により従業員の衛生面に関する意識が向上。
- ・製造商品は協力先の株式会社飯田商店のホームページにてインターネット通販が開始。
- ・コロナウイルス感染拡大の影響等により販売量が減少したが、商品の評価は良好なことから、今後も引き続き販売量拡大に取り組む。
- ・新工場設立により生産量拡大。

プロジェクトフロー

小林商店

販売先からは衛生管理の強化を求められているものの、現状の生産体制では対応が難しい

セイロ洗浄機等を導入し、衛生管理を強化。
インターネット通販等新規販路を拡大

量販店等販売先

より安心安全な商品を消費者に提供したい。
みりん干し商品は安定的な消費が見込めるため、取扱量拡大を望んでいる。

継続的な商品販売が可能。
高度な衛生管理商品として消費者に訴求

乾燥機



せいろ洗浄機



さばみりん干し

